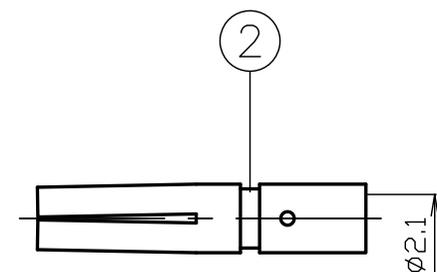
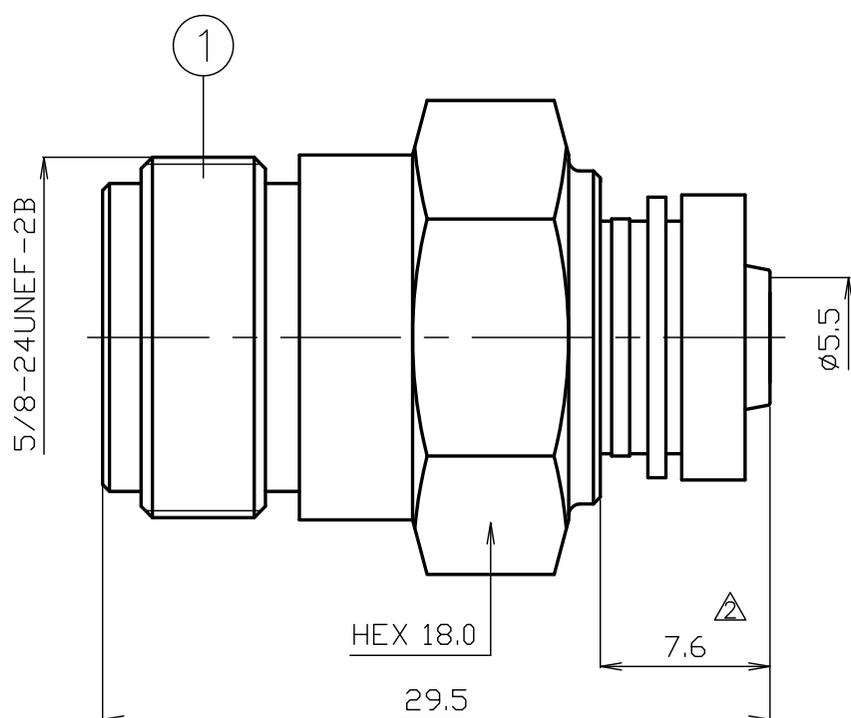


番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.03.01	山本
△2	寸法修正 「7.5」→「7.6」	2021.06.02	山本
△3			
△4			
△5			



RoHS Compliant Cd ≤75ppm
 REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
 PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

7						尺度 3/1	製図	検図	承認	確認	品名
6							渡邊	檜	山	三	NJ-5FSW
5							'21,06,02	'21,06,02	'21,06,02	'21,06,02	
4							直弘	澤	本	村	
3						単位 mm					
2	中心コンタクト	リン青銅	1	Au		日付 2002.08.10	投影法				
1	本体	黄銅	1	Ni							図番 S-0511777
番号	部品名	材質	数量	処理	備考						



仕 様 書

品 名 NJ-5FSW
 図 番 S-0511777
 定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 公称インピーダンス 50Ω
 4 周波数範囲 6GHz
 5 使用温度範囲 -20℃~+80℃
 6 使用相対湿度 85%RH以下

No. 0520586



項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す	異常のないこと
	材 質	(図番 : S-0511777)	
	仕上げ及び表示		
4 5 6	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下
7	電圧定在波比	DC~2GHz (5D-SFA-LITE) 2GHz~4GHz (5D-SFA-LITE) DC~6GHz (5D-SFA、5D-HFA)	1.2以下 1.3以下 1.2以下
8 9 10 11	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
	雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ 1.0N以上	異常のないこと
	ケーブル接続強度	軸方向引張力 196N以上	異常のないこと
	結合部接続強度	軸方向引張力 300Nを加えたとき	ネジ部に 異常のないこと
12	繰り返し動作	5000回の抜き差し後 (試験速度 : 毎分10回以下)	接触抵抗は10mΩ以下
13	防水性	ケーブルに取付したコネクタを水に浸し 空気圧(19.6kPa)を20秒間加える	漏れによる気泡が ないこと
		絶縁抵抗	番号4の性能を満足する事
14 15	耐 候 性	JIS C 5402 7.2.1による。 コネクタは非結合の状態試験する。 a) 低温側の温度 -20℃±2℃ b) 高温側の温度 +80℃±2℃ c) 移し換え時間 2分間から5分間 d) サイクル数 5サイクル e) 放置時間 30分間	絶縁抵抗:1000MΩ以下 耐電圧:せん絡及び絶縁破壊 がないこと 外観構造:ひび、割れ、変形 などの異常がないこと
		耐食性	耐電圧 : 1000V(実効値)を加えた時異常がないこと 接触抵抗 : 50mΩ以下
16	その他	5D-SFA、5D-SFA-LITE ※共にフジクラ製 5D-HFA ※関西通信電線製	

変更履歴		日付
1	社名変更、電圧定在波比変更	2021.06.15
2	適合ケーブル 追記	2021.06.15

確 認	承 認	検 印	作 成
 三村 21.06.15	 山本 21.06.15	 水本 21.06.15	 渡邊 21.06.15 直弘

NJ-5FSW 取付仕様書 (TA-24S 圧着工具)

適合ケーブル 5D-SFA、5D-SFA-LITE ※フジクラ製
5D-HFA ※関西通信電線製 ▲

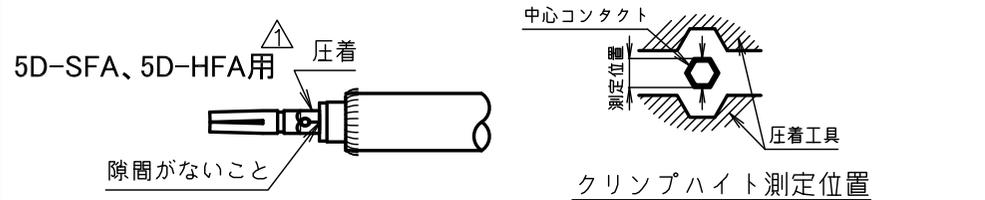
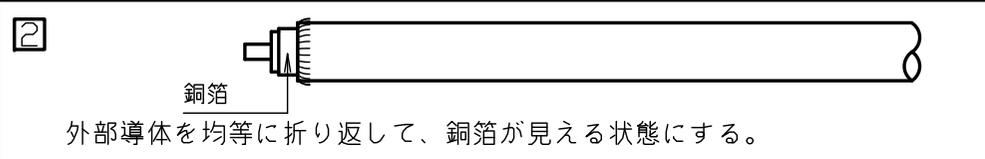
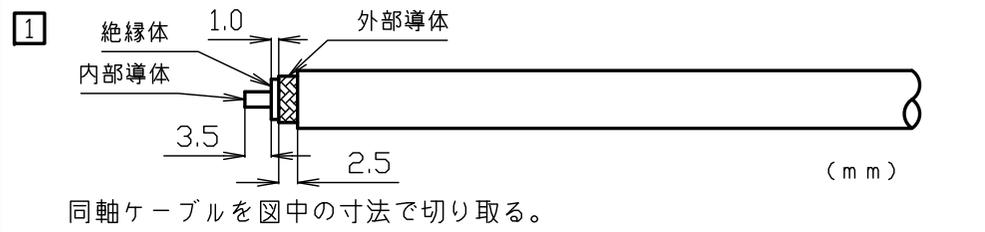
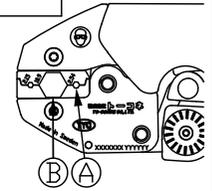
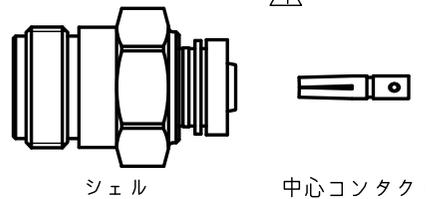
専用圧着工具
TA-24S

図番 S-0511777

製図	検図	承認	確認
渡邊 '21.06.15 直弘	檜 '21.06.15 澤	山 '21.06.15 本	三 '21.06.15 村

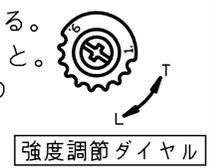
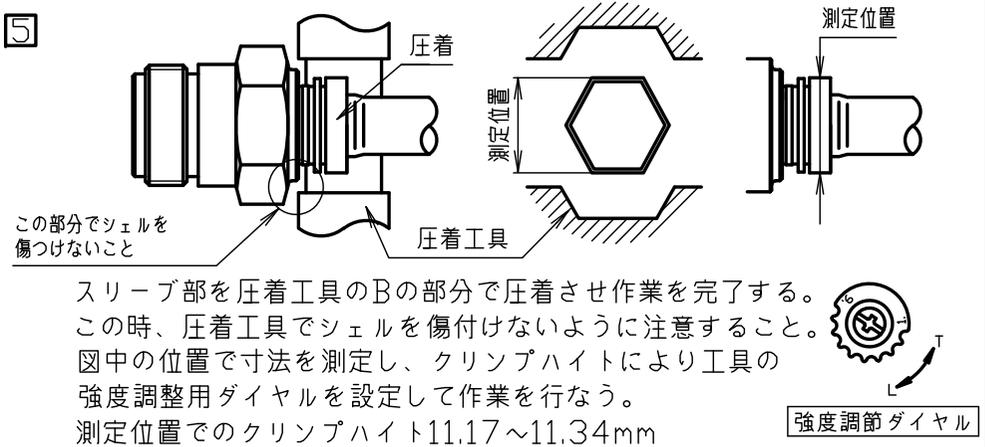
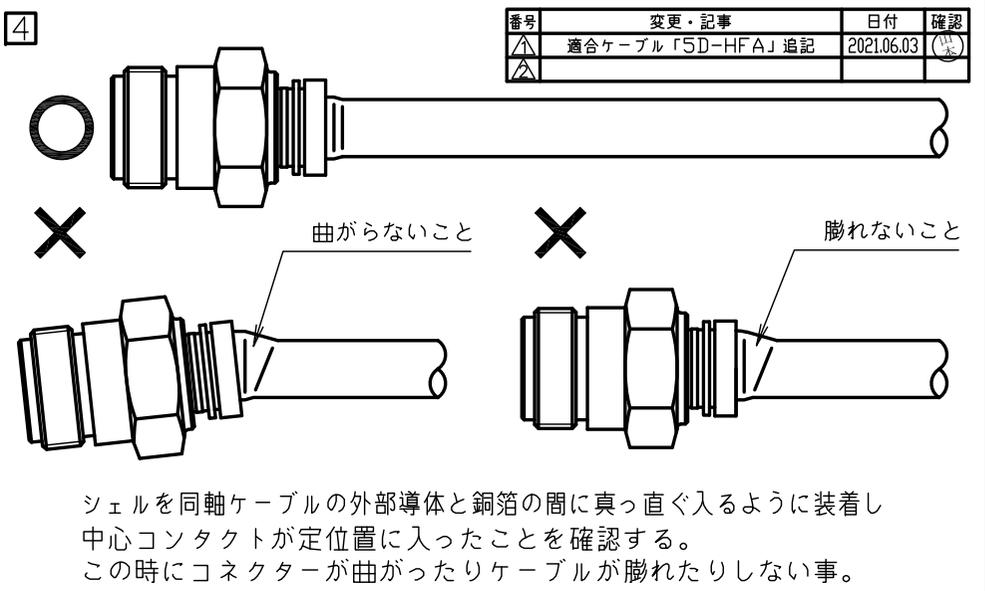
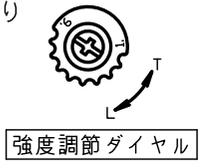


部品構成



中心コンタクトを内部導体に装着し圧着工具Aの部分で圧着する。
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプ高さにより工具の強度調整ダイヤルを設定して作業を行う。
測定位置でのクリンプ高さ2.65~2.75mm
注意

- 1 中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと
- 2 銅箔が中心コンタクトと接触していないか確認すること



◆TA-24Sをご使用の場合は、別紙「TA-12S/24S圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。